

# 平成23年度 第6回運営会議ニュース

日 時	平成23年10月9日(日)13:30~16:00
場 所	県立座間谷戸山公園 ログハウス(パークセンターは写真展開催中)
出 席 者	19名

## 議題

### (1)各ゾーンエリアの管理について

- 専門委員からビオトープ研修による活動状況について以下の報告があった。
  - ・9月の作業で、皆伐区域(雑木林更新事業)の林床に繁茂したニセアカシア、カラスザンショウやアカメガシワの刈り取りを行った。10月・11月も引き続き行う予定。
  - ・湿生生態園のヨシ刈りにより、ヨシが抑えられて、ヤブツルアズキやボントクタデなどの植物が増加している。湿生生態園における周縁樹木を含めた管理計画について、次回以降、検討資料で提案したい。
- グリーントフから長屋門から湧き水の谷の区間における植物種一覧表の配付があった。その中で湿生生態園周辺の湿地のみに自生している種や湿地帯の樹木があるので、特に保護すべきとの意見があった。

### (2)各ゾーンエリアにおける要望事項について

園内の公園施設の短期、中長期的な視点での改善要望事項について、会長から項目等を取りまとめた資料の配付があり、今回はログハウスのビオトープ池の漏水について討議した。その結果を土木事務所へ要望することにした。ログハウスの池以外については今後検討することとなった。

(会員の意見)

- ・ログハウスのビオトープ池の漏水についてはできるだけ早く速く改善して欲しい。また、ログハウスの屋根は南側部分が大きいので、雨樋を効果的に利用して、池に導いて欲しい。

## その他報告事項など

### ○公園事務所

台風15号による被災状況について

- ・現時点で71本の倒木等を確認。一部通行止め区間を設定しながら、各現場の処理を進めている。
- ・傾向としては、高齢化したコナラ等の樹木が幹折れ・枝折れしたケースが多く、園内全体の樹木が更新を必要としていることを改めて確認できた。
- ・通行止めの基準及び、高所作業車通行の為の一部園路の拡幅等を検討すべきではないか。
- ・9/24に、里山保全隊の有志で園内の枝整理を行って頂いたのでお礼を言いたい。
- ・水鳥の池の4つの島の草刈り方法について再確認→一部刈り残した方がよいとの意見があり、後日会員から要望を頂いた。→池南奥から2番目の島の観察小屋側の幅2mを刈る。他の島はすべて刈る。
- ・やとやま講座で11月5日に里山体験館内の囲炉裏で「語りのまつり」を開催する。公園まつりは、11月27日に開催し、イベントも例年通り行う予定。

(会員の意見)

- ・木登り剪定ができる職人をピックアップしておいて、今回のように緊急の場合にすぐ作業を依頼できるようにしてはどうか。枝張りが少ない木は、受けた風を分散できず、幹折れしてしまうという説が最近ではある。
- ・通行止めの基準は、公園側が判断し、利用者への周知が徹底されていればよい。
- ・園路の拡幅については、開園当初からも想定外なので、事前に運営会議で検討すべき。

### ○厚木土木事務所東部センター

- ・ログハウス入口の歩道改修工事について配付資料をもとに説明。すでに着手しているが、本格的には来月頃から。入口横断歩道近くにある電柱は、通行に支障がない場所に移動したい。

・10月13日に水鳥の池など園内8か所で水質調査を行う。

・台風被害で発生した倒木や折れ枝の処分は、なるべく土木事務所で行うが、処分方法で要望を聞きたい。

→(会員の意見)なるべく同じ長さで切り、窪地などの見えない場所に積んで欲しい。水路の杭や薪、ホダ木に使える枝等は、まとめてどこかに集積して欲しい。

○県庁都市公園課

県立都市公園の公園単位の管理運営計画を策定するので、各団体からの意見を提出して欲しい。その後、意見を考慮して素案を作り、運営会議の場で意見をもらいたい。

(会員の意見)園内の樹木が高齢化しており、その伐採計画を具体的に実行できる形で作成して欲しい。

○さがみネイチャーゲームの会

10月2日に公園行事のネイチャーゲームを開催した。16日には会の主催で園内で行う。

○ふるさとフォーラム座間

10月8日に親子米作り隊で予定通り稲刈りを行った。

次	回	11月13日(日) 13:30~16:00	パークセンター
---	---	-----------------------	---------